

第8次鷹栖町総合振興計画

前期期間報告と後期計画に向けて

令和6年7月 各地区まちづくり懇談会
鷹栖町まちづくり推進課

説明内容について

- (1) 計画の概要
- (2) 数値で見る前期期間
- (3) 前期期間の事業報告
- (4) 後期計画に向けて

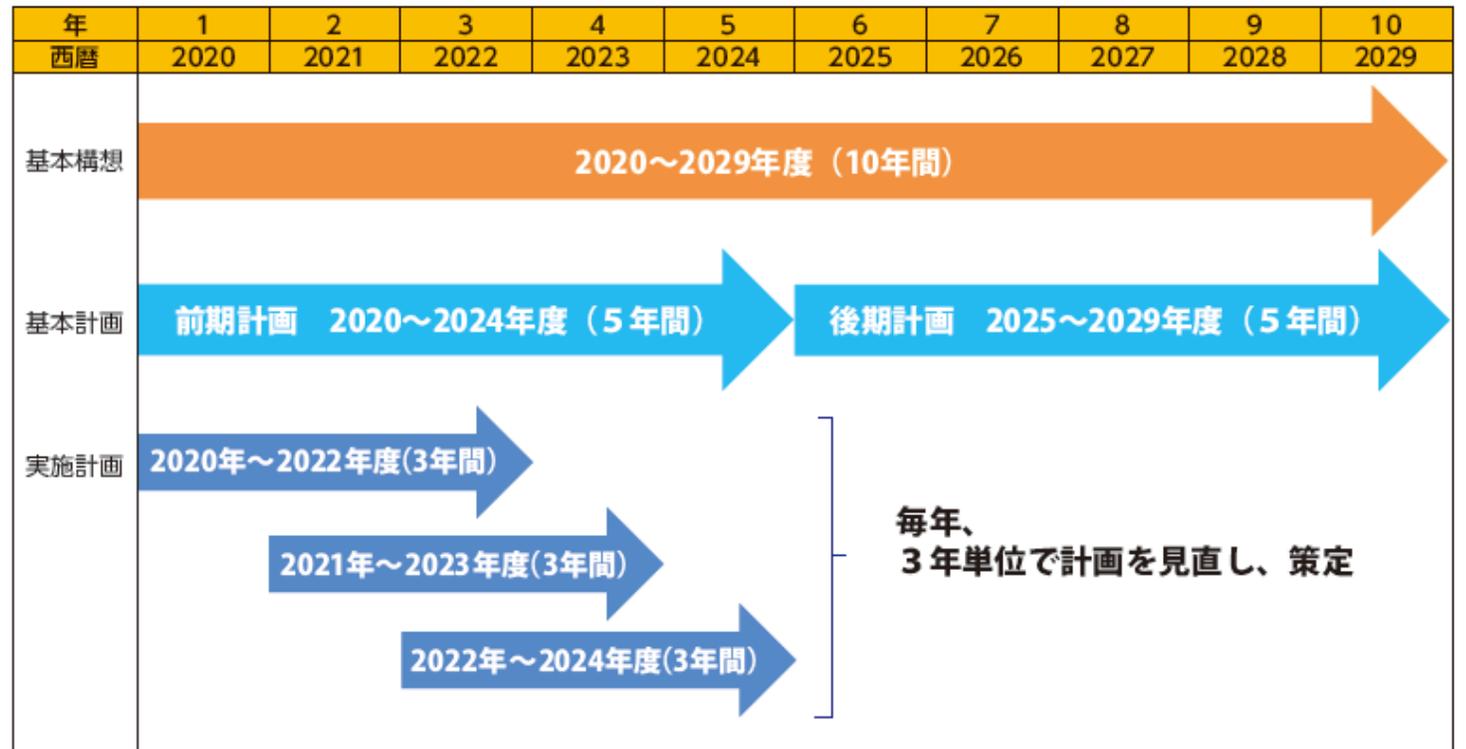
1 計画の概要



総合振興計画とは

- 自治体の最上位計画
- 長期的なまちづくりの方針や将来像を示すもの

計画の構成と期間

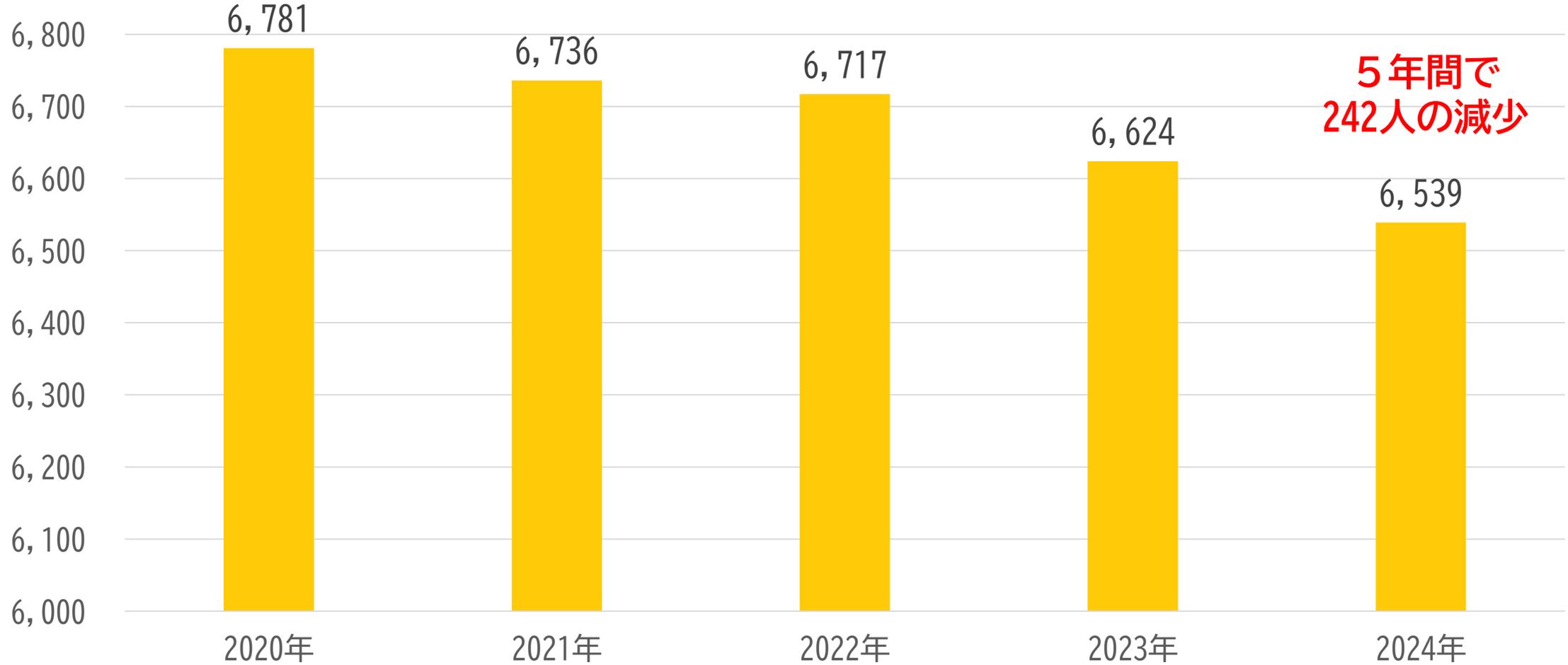


1 計画の概要



2 数値で見る前期期間

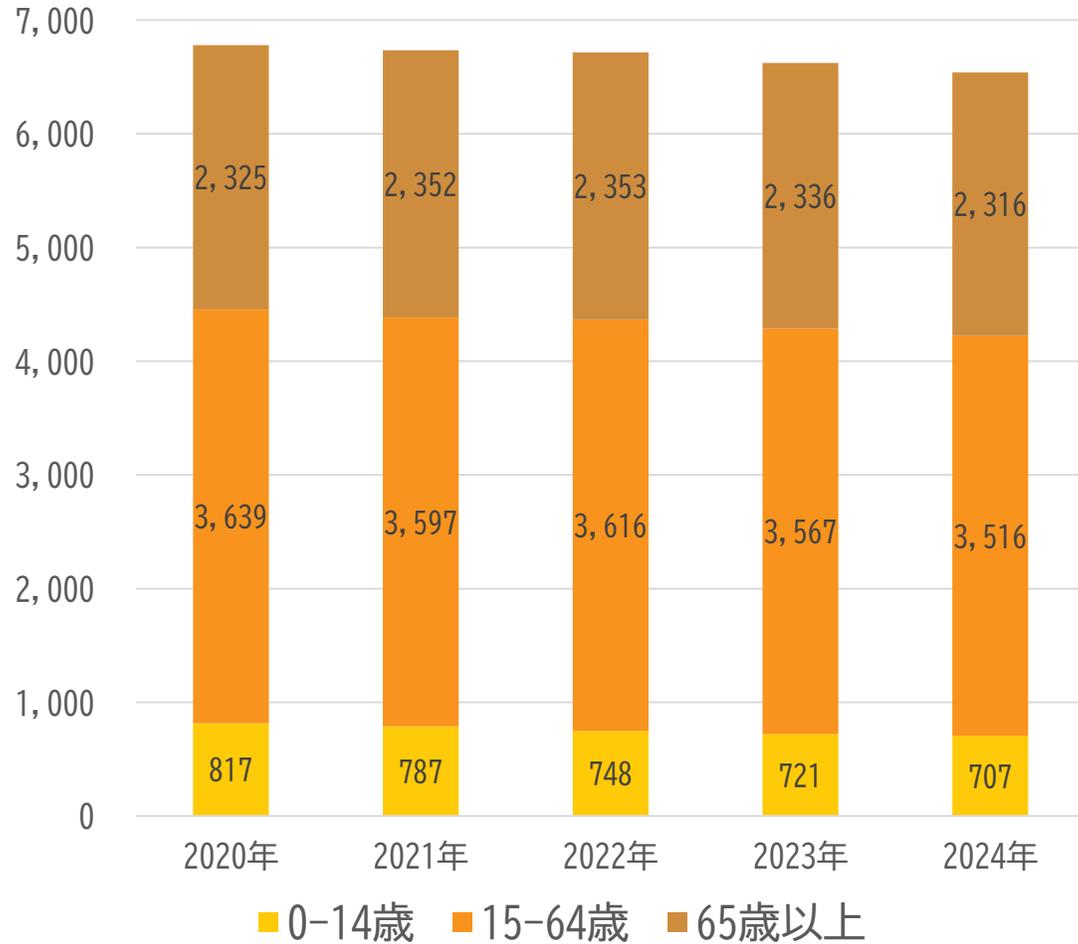
鷹栖町の人口



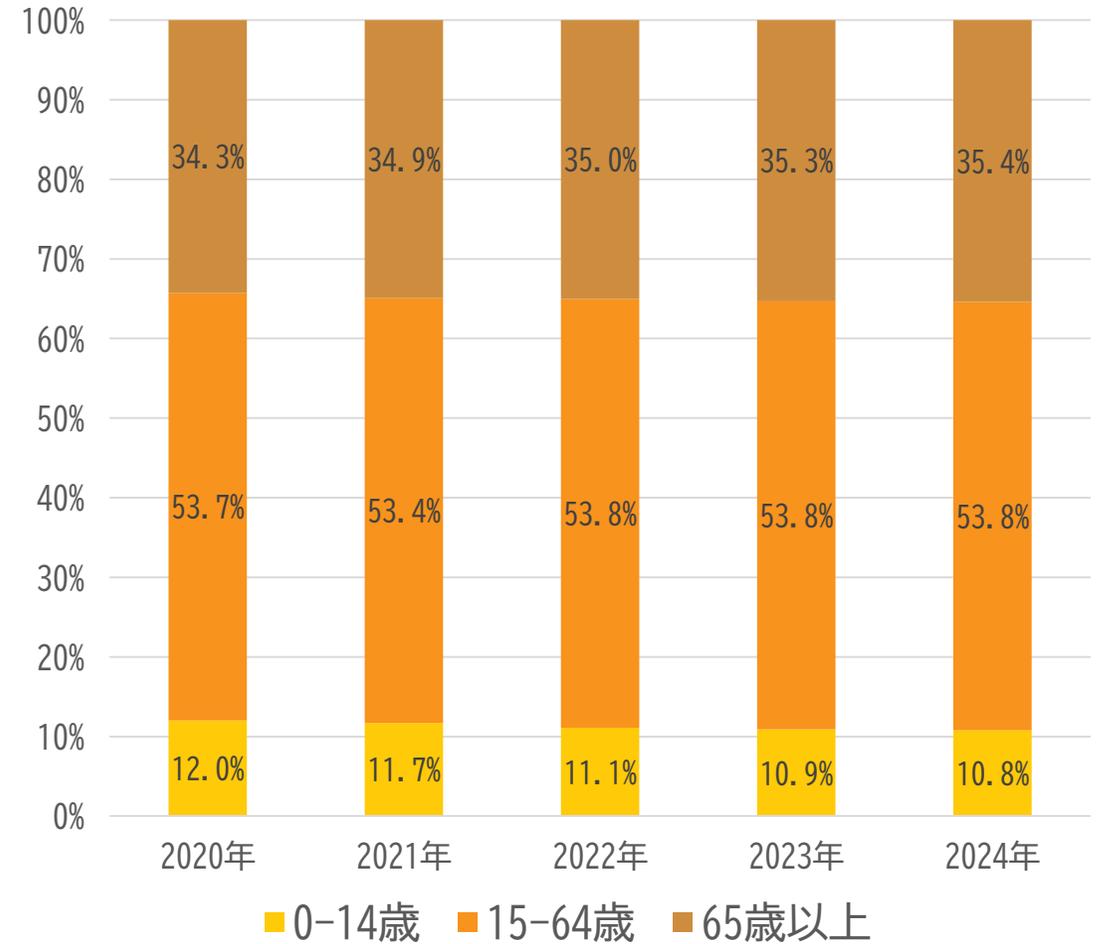
※各年3月31日現在の住民基本台帳より

2 数値で見る前期期間

3世代別人口

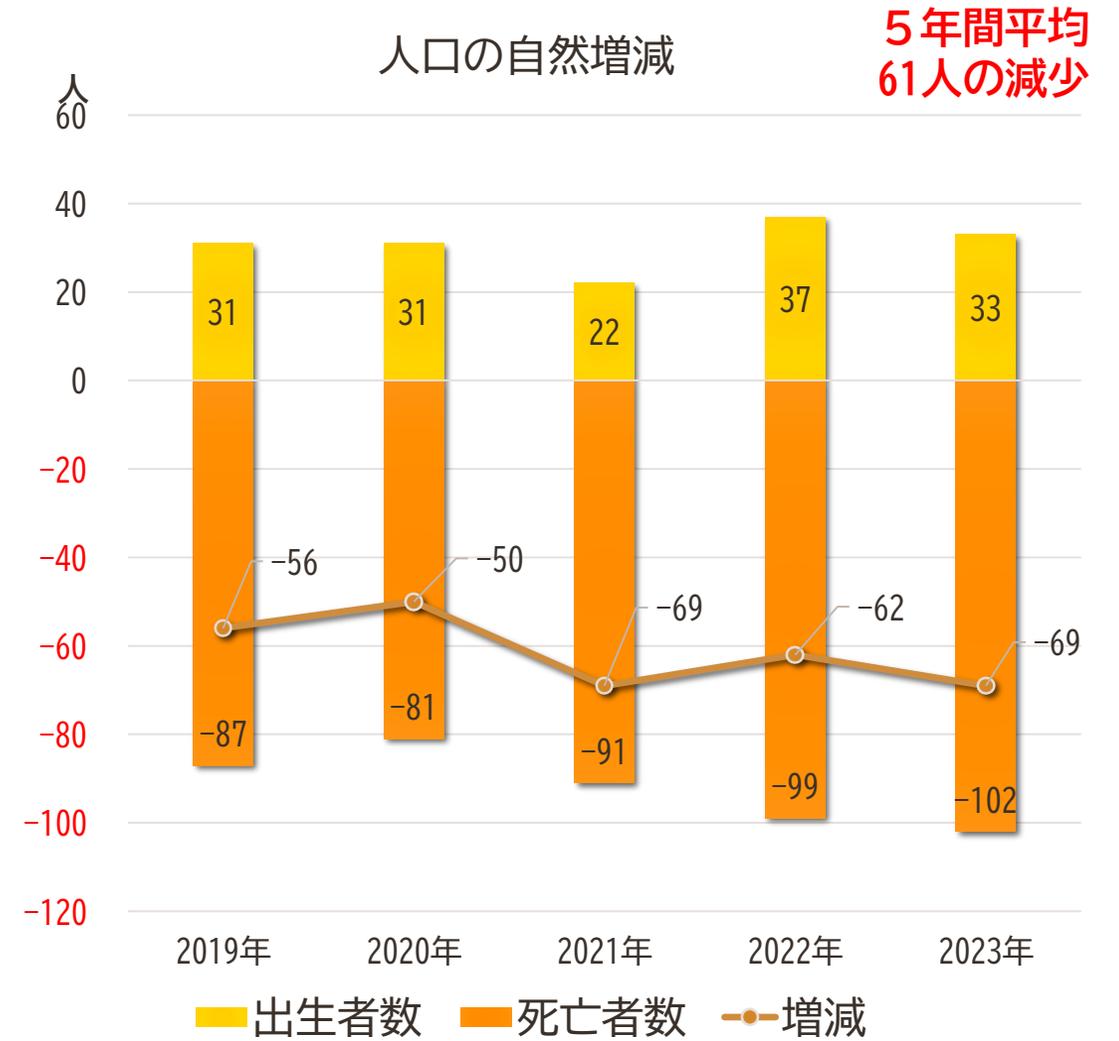
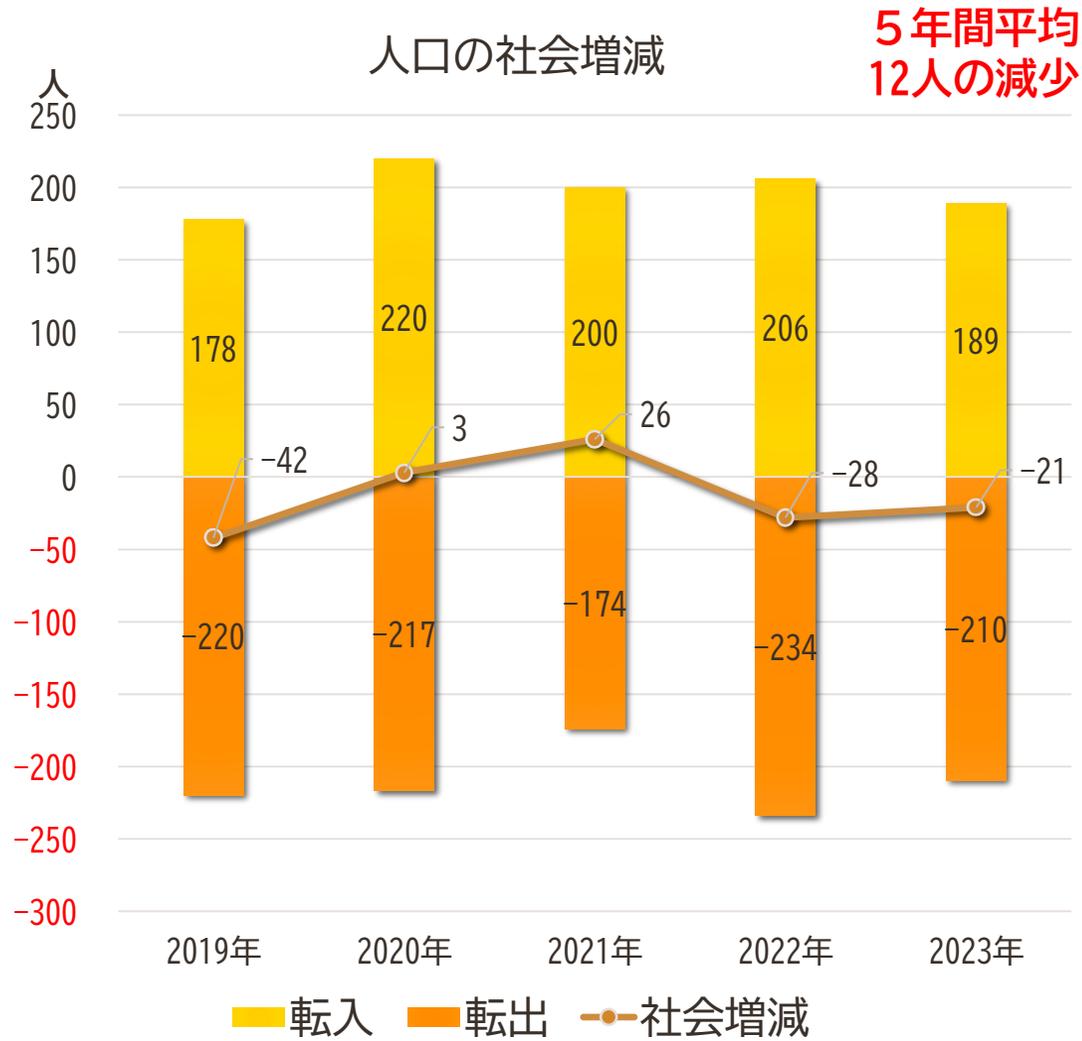


3世代別人口比率



※各年3月31日現在の住民基本台帳より

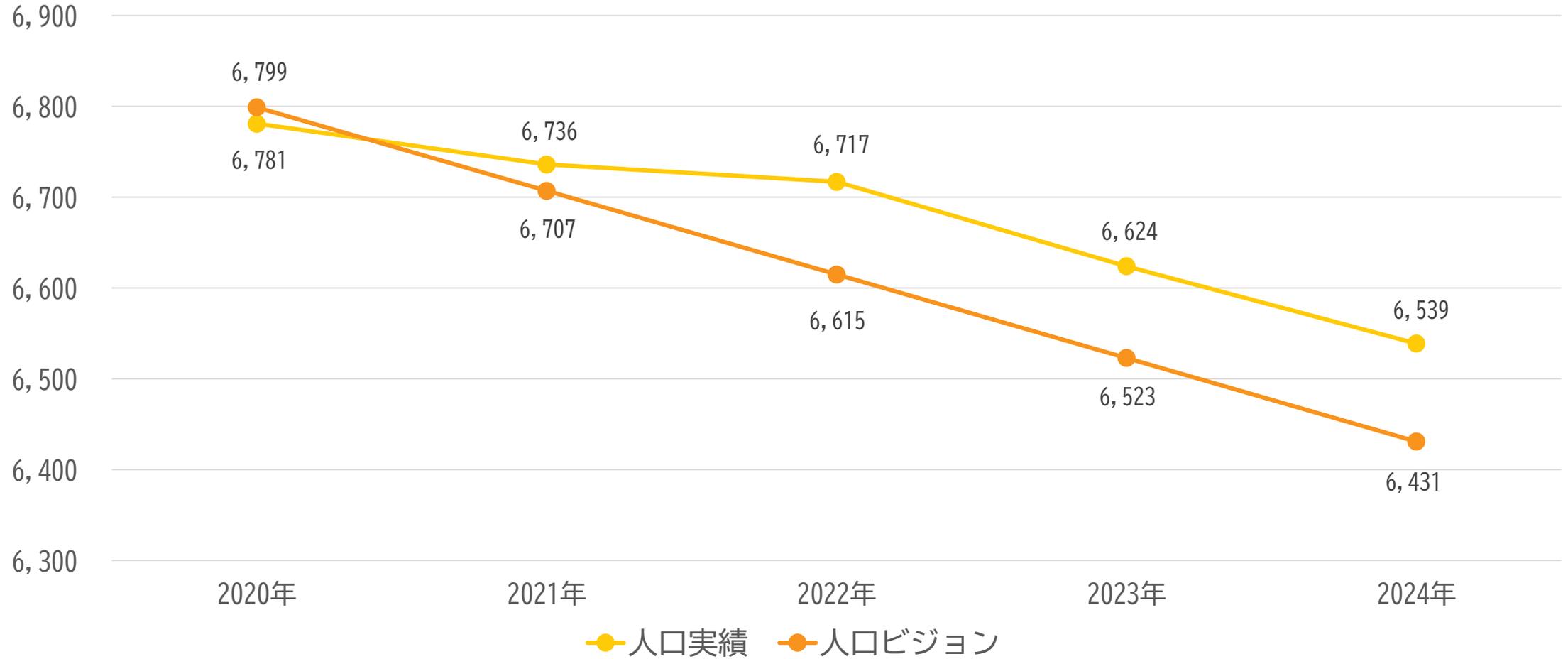
2 数値で見る前期期間



※各年度内における住民基本台帳の推移より

2 数値で見る前期期間

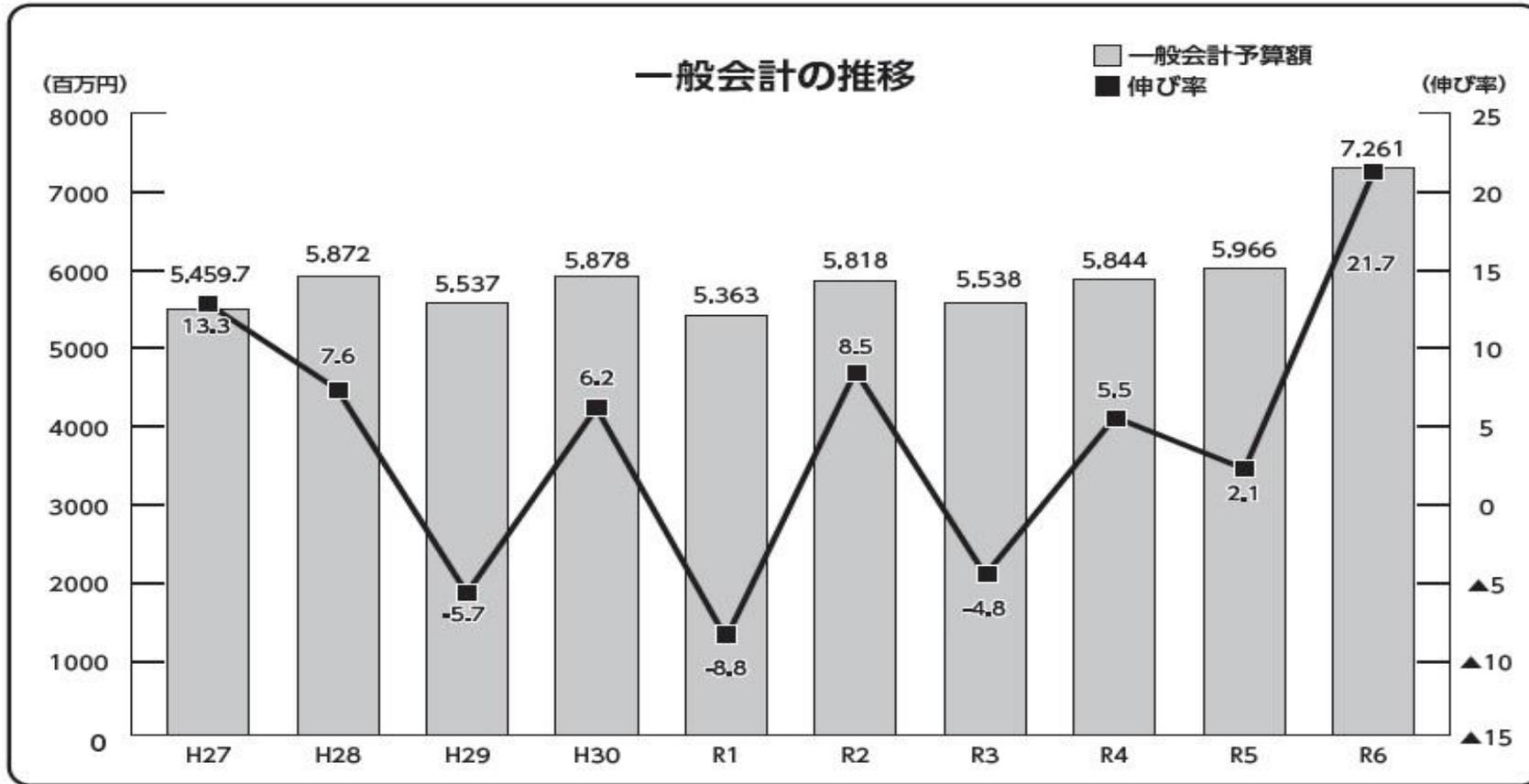
人口ビジョンとの比較



※令和2年3月策定「鷹栖町人口ビジョン」より

2 数値で見る前期期間

鷹栖町の直近10年間の一般会計予算の推移です。令和6年度の予算額は72億6,100万円を計上しています。



Question
3

一般会計の推移



2 数値で見る前期期間

Question

5

「基金」ってなに

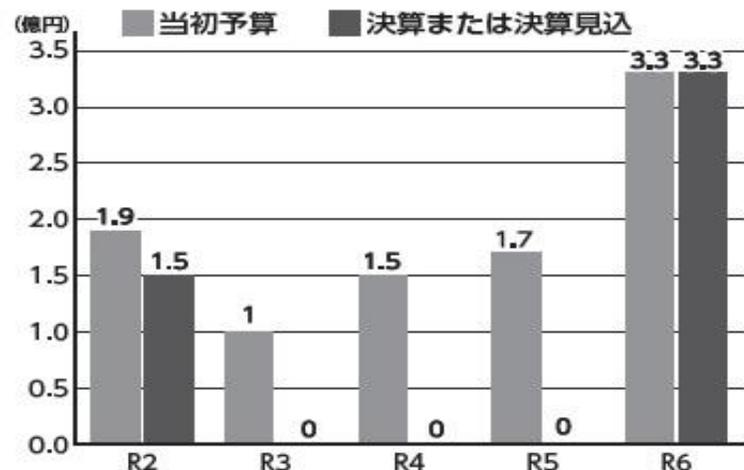
家庭で例えるならば貯金に当たるもので、特定の目的のために、資金を積み立てるまたは運用するものとして、「基金」があります。

そのうち、財政運営の調整や災害等の思わぬ支出に備えるための基金としては、財政調整基金があります。

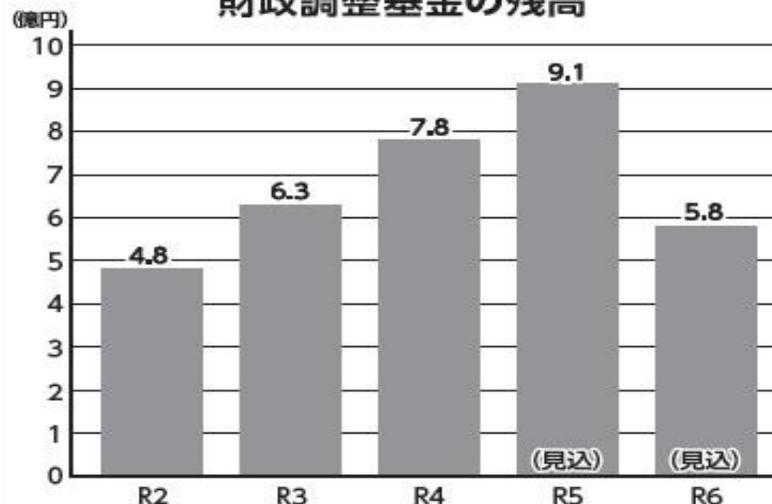
令和2年度以降、行財政改革などの取り組みにより、財政調整基金の残高は徐々に増加しておりますが、令和6年度もさまざまな事業の財源として活用することから、基金残高は減少する見込みとなっております。

そのため、予算執行において、収入の確保や支出の節減等により決算での収支を改善することで取崩額をできる限り抑えることが重要です。

財政調整基金の当初予算・決算における取崩額



財政調整基金の残高

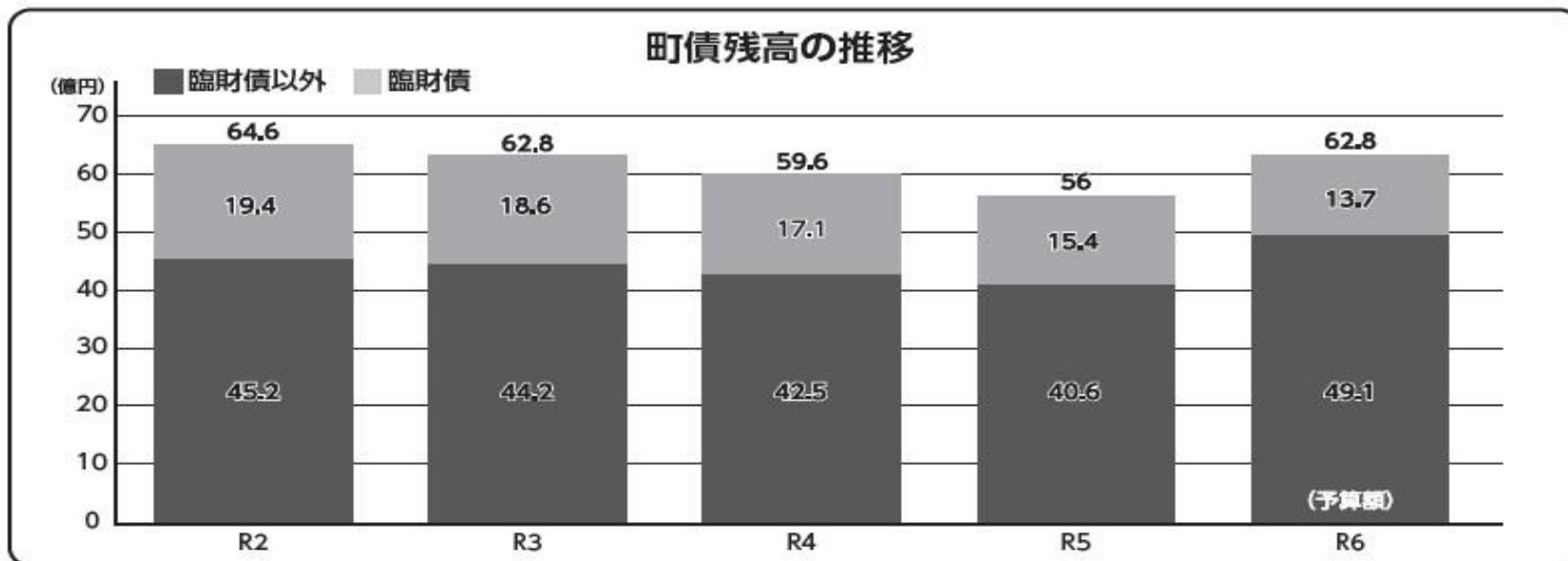


2 数値で見る前期期間

町債は、家庭で例えるならば借金に当たるもので、主に道路・公園・公営住宅などを建設する際に、その財源として発行するものです。しかし、町債の残高が増加していくと、その償還負担が町の財政を圧迫してしまうため、発行額の抑制に努める必要があります。

町債のうち、地方交付税の振り替わりである臨時財政対策債(臨財債)の元利償還分は全額地方交付税の計算に算入され、町の財政運営に支障が出ないように国から措置されています。

町債には世代間の負担を公平にするという役割もありますので、引き続き計画的に発行していく必要があります。



Question

6

「町債」ってなに



3 前期期間の事業報告

※前期事業総額は5カ年の総額（R2～5：決算額／R6：予算額）



◆基本目標1◆

あらゆる世代が幸せを追求する 人が輝くまち

基本的な方針／実施事業	前期事業総額
地域や家庭とともにつくる学校運営の推進	2, 238万円
特別支援教育の充実	4, 119万円
小・中学校管理運営事業 R2 コロナ対策（換気／備品等） R6 空調設備（冷房設備）	8億3, 253万円
鷹栖町立学校適正配置計画の策定 R4～鷹栖町立学校の在り方検討委員会 R5 鷹栖町立学校適正配置計画の策定	41万円
外国語指導助手招致事業 R3 指導助手の増員【1名→2名】 R5 鷹栖高校の外国語授業と連携	3, 924万円
国際交流活動推進事業 R3～英語検定受験料補助開始	145万円

■事業成果

- ・きめ細やかな学習、生活支援の実施
- ・安全、安心な教育環境の充実
- ・住民の国際理解、国際交流の推進

■数値的成果と現状

【英検受験補助件数】

3年間計／277件



3 前期期間の事業報告

※前期事業総額は5カ年の総額（R2～5：決算額／R6：予算額）



◆基本目標1◆

あらゆる世代が幸せを追求する 人が輝くまち

基本的な方針／実施事業	前期事業総額
コーディネーショントレーニングを生かした感性を育む教育活動 R3 オリジナル教育プログラム完成 R4～プログラムを活用した活動の展開	406万円
まちを理解し郷土愛を育むふるさと体験活動	451万円
小中学校ふるさと共育プログラム化 R3 中学校での取組開始 R4 小学校での取組開始（両小合同授業）	—
図書管理運営事業	66,454千円
読書活動推進事業	2,147千円

■事業成果

- ・特色ある教育プログラムの構築
- ・住民の郷土愛の育成
- ・適度な蔵書購入による読書環境充実

■数値的成果と現状

【鷹栖町図書室蔵書数】

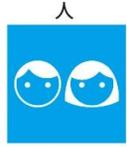
R2／47,820冊

⇒R5／54,014冊



3 前期期間の事業報告

※前期事業総額は5カ年の総額（R2～5：決算額／R6：予算額）



◆基本目標1◆

あらゆる世代が幸せを追求する 人が輝くまち

基本的な方針／実施事業	前期事業総額
歩くスキーコース管理運営事業	4,139万円
運動習慣化推進事業 R3～4 働き世代へ行動変容プログラムを実施 R5～ウォーキングプログラム 健康ポイント事業	5,419万円
子どもの多様なスポーツ環境整備事業 R5 たかす総合型地域スポーツクラブ設立 R6. 6月時点／会員数263名 (大人57名、子ども206名) R5～部活動地域移行検討開始 R6 バドミントン地域クラブ 「NexusBC（ネクサビーシー）」設立	960万円

■事業成果

- ・スポーツ、健康づくりの団体設立
- ・新たな運動習慣化に向けた事業構築
- ・部活動地域移行に向けた検討開始

■数値的成果と現状

【体育協会登録者数】

R2／708人→R5／616人

【少年団登録者数】

R2／147人→R5／64人



3 前期期間の事業報告

※前期事業総額は5カ年の総額（R2～5：決算額／R6：予算額）



◆基本目標1◆

あらゆる世代が幸せを追求する 人が輝くまち

基本的な方針／実施事業	前期事業総額
郷土資料館管理運営事業 R4～館内レイアウト変更開始 R5 馬の装蹄用具及び関連資料 文化庁「登録有形民俗文化財」登録	952万円
メロディーホール管理運営事業	3億393万円
文化振興活動支援事業	1,172万円



■事業成果

- ・文化財登録による住民の関心向上
- ・文化芸術とふれあう機会の創出

■数値的成果と現状

【郷土資料館来館者数】 R2／264人→R5／391人
【文化協会会員数】 R2／694人→R5／326人



3 前期期間の事業報告

※前期事業総額は5カ年の総額（R2～5：決算額／R6：予算額）

暮らし



◆基本目標2◆
あらゆる人の希望に寄り添う 幸せな暮らしを実現するまち

基本的な方針／実施事業	前期事業総額
子ども医療費助成事業 従前 中学3年生まで医療費無料化 R5 対象年齢を18歳まで拡大	1億3,389万円
産前・産後サポート推進事業	777万円
妊娠、出産の希望を叶える環境整備	1,979万円
保育園管理運営事業 R4・5 子育て未来会議 R6 発展的統合に向けた施設改修	5億4,086万円
放課後児童クラブ管理運営事業	1億5,470万円
子育て世代包括支援センター運営事業 R2 開設 ⇒妊娠期から18歳まで切れ目なく支援 R5 産婦人科・小児科オンライン	693万円

■事業成果

- ・妊娠、出産の希望を叶える環境整備
- ・子ども家庭支援員、スクールソーシャルワーカーによる手厚い支援

■数値的成果と現状

【合計特殊出生率の向上】

H25～H29 / 1.19

⇒H30～R4 / 1.34



3 前期期間の事業報告

※前期事業総額は5カ年の総額（R2～5：決算額／R6：予算額）

暮らし



◆基本目標2◆
あらゆる人の希望に寄り添う 幸せな暮らしを実現するまち

基本的な方針／実施事業	前期事業総額
地域共生社会推進事業 継続 買い物支援事業（宅配・送迎） 継続 居場所づくりのサロン支援 R3 重層的支援体制整備事業 R5 生涯現役地域づくり環境整備事業	9,393万円
地域包括支援センター運営事業	1,818万円
高齢者在宅生活支援事業 継続 フィットネス倶楽部「コレカラ」運営 継続 あったかすりハビリ体操指導士の活動	1億3,298万円
介護福祉人材確保育成事業	807万円
外国人介護福祉人材育成支援事業 R6. 6月時点／事業活用奨学生在職人数 鷹栖さつき会3名／鷹栖共生会1名	4,726万円

■事業成果

- ・地域福祉計画に基づく取組の展開
- ・官民学の連携による福祉人材育成

■数値的成果と現状

【買い物支援事業利用数】

宅配 4年間延べ／81人

送迎 4年間延べ／107人

【鷹栖高校介護職員初任者研修】

受講者数 4年間延べ／70人



3 前期期間の事業報告

※前期事業総額は5カ年の総額（R2～5：決算額／R6：予算額）

しごと



◆基本目標3◆

あらゆる地域資源を活かす 幸せなしごとをつくるまち

基本的な方針／実施事業	前期事業総額
地域農業活性化総合支援事業 R4 スマート農業推進補助開始 R6 農業農村地域DX人材育成推進	9,767万円
農業交流センター管理運営事業	5,088万円
農業担い手確保対策事業 R3～野菜団地事業 R4～あったかファーム研修生：協力隊	3億952万円
農業生産基盤強化事業 R5 北野地区国営／北成地区道営事業完了 鷹栖南・鷹栖日の出地区工事開始 R6～北野地区国営事業償還金	9億5,245万円
有害鳥獣駆除対策事業	3,095万円
「オオカミの桃」原料トマト生産振興対策事業	4,165万円

■事業成果

- ・効率化、省力化による生産性の向上
- ・ICT技術による経営の最適化向上

■数値的成果と現状

【あったかファーム研修生人数】

15人（H30～R5）

【新規就農者数（事業継承含む）】

30人（H30～R5）



3 前期期間の事業報告

※前期事業総額は5カ年の総額（R2～5：決算額／R6：予算額）

しごと



◆基本目標3◆

あらゆる地域資源を活かす 幸せなしごとをつくるまち

基本的な方針／実施事業	前期事業総額
鷹栖市街地エリアマネジメント推進事業 R2 鷹栖市街地の未来を考えるワークショップ R4 買い物等実態把握アンケート実施 R4 みんなでつくる鷹栖市街地未来ビジョン	—
地域消費活性化事業	7,707万円
新規開業支援事業	1,731万円
観光資源活用ネットワーク化推進事業 R4 マイクロツーリズムによるモニターツアー R5 文化・郷土体験を軸としたモニターツアー	2,493万円

■事業成果

- ・協働による具体的なビジョンの策定
- ・慶應義塾大学との連携による外部目線、若者視点の事業反映

■数値的成果と現状

【新規開業支援事業活用件数】
13件（R2～R5）



3 前期期間の事業報告

※前期事業総額は5カ年の総額（R2～5：決算額／R6：予算額）



環境

◆基本目標4◆

あらゆる安心を未来へとつなぐ 幸せな環境を持続するまち

基本的な方針／実施事業	前期事業総額
パレットヒルズ管理運営事業	2億841万円
地域情報通信基盤整備事業 R4 全町光回線配備 光ブロードバンド開始	1億2,473万円
地域防災力の強化 R2 全町への防災無線配備 R2 ハザードマップの作製 R4～B&G防災拠点事業活用 防災倉庫の増設や小型特殊車両の導入	3億4,190万円
避難所等整備事業 20,202千円 R2 避難所感染対策備品整備 R2 福祉避難所の非常用電源整備	3億952万円
河川維持管理事業	1億4,733万円

■事業成果

- ・パレットヒルズの認知度、来場者増
- ・光回線配備によるICT環境の充実
- ・防災無線による迅速な情報伝達環境

■数値的成果と現状

【パレットヒルズキャンプ場利用者】

R2／1,643人

⇒R5／5,070人

【さくらフェスタ・夜桜来場者数】

R2／1,717人

⇒R6／6,400人



3 前期期間の事業報告

※前期事業総額は5カ年の総額（R2～5：決算額／R6：予算額）

環境



◆基本目標4◆

あらゆる安心を未来へとつなぐ 幸せな環境を持続するまち

基本的な方針／実施事業	前期事業総額
公営住宅事業 R3～共用部照明LED化 R6 北鷹栖団地（北斗）建設	6億3,943万円
街路灯防犯灯設置管理事業 継続 LED化の推進（R7完了見込）	1億2,132万円
町営バス運行事業	7,684万円
道路橋梁長寿命化対策事業	3億2,094万円
歩道等道路附帯施設交通安全対策事業	1億1,297万円
除排雪対策事業	9億2,480万円

■事業成果

- ・日常的な生活環境の整備・充実
- ・インフラ環境の継続的な整備・充実
- ・冬期における住民の安全、安心確保

■数値的成果と現状

【町営バス利用者数】

R2／延べ4,154人

⇒R5／延べ6,259人



3 前期期間の事業報告

※前期事業総額は5カ年の総額（R2～5：決算額／R6：予算額）

環境



◆基本目標4◆

あらゆる安心を未来へとつなぐ 幸せな環境を持続するまち

基本的な方針／実施事業	前期事業総額
生ごみ堆肥化推進事業	6,461万円
指定ごみ専用袋等売渡管理事業 R2 燃やせるごみ専用袋有料化 R4 紙製容器包装分別袋の全戸配布 R6 資源ごみ袋有料化	4,003万円
一般廃棄物焼却等処理事業	1億8,567万円
低炭素化促進事業 R4 ゼロカーボンシティ宣言 R5 タカステナブルロゴ作成 R5～公共施設照明LED化 R5 ゼロカーボンハウス化補助 (窓断熱改修／木質バイオマス機器) R6 置き配ボックス購入補助	2,172万円

■事業成果

- ・住民のゼロカーボン対策意識の醸成
- ・SDGsを意識したごみ減量化

■数値的成果と現状

【家庭ごみ焼却処理量】

R2／762t → R5／675t

【ゼロカーボンハウス化補助件数】

窓断熱改修16件

木質バイオマス1件



3 前期期間の事業報告

※前期事業総額は5カ年の総額（R2～5：決算額／R6：予算額）

交 流



◆基本目標5◆

あらゆる人が関係して高めあう 幸せな交流があるまち

基本的な方針／実施事業	前期事業総額
地区住民センター管理運営事業	2億1,902万円
公民館運営事業 R5 地区公民館の発展的解消 地域運営組織への移行による活動	4,072万円
持続可能な地域づくり推進事業 R2 モデル地区事業開始（北斗・北成） R3 モデル地区事業開始（中央） R3～まちLabo 【次代の地域を担う人材育成】 ○劇団isonoによるミュージカル・演劇 ○パレットヒルズでの子ども向けイベント ○地域交流を含めた子ども食堂の運営 R5 地域運営組織による地域づくり開始 R5 各地区集落支援員の配置：人材支援	1億1,391万円

■事業成果

- ・幅広く充実した地域活動の基盤構築
- ・地区住民センターの一体的運営体制
- ・地区の事務局機能強化への人的支援
- ・次代を担う世代の新たなコミュニティの形成、ネットワークの構築



3 前期期間の事業報告

※前期事業総額は5カ年の総額（R2～5：決算額／R6：予算額）

交流



◆基本目標5◆

あらゆる人が関係して高めあう 幸せな交流があるまち

基本的な方針／実施事業	前期事業総額
空き家等対策事業	1,435万円
移住定住の促進 R4～ 慶應義塾大学との域外連携プロジェクト R4 みんなでつくる鷹栖市街地未来ビジョン策定	1億8,866万円
地域おこし協力隊事業	2億906万円
ふるさと鷹栖活動推進事業	9,096万円

■数値的成果と現状

【移住相談を経た移住者数】	68組（R2～5）
【空き家改修支援活用件数】	40件 59人（R2～5）
【住宅建築支援活用件数】	86件 170人（R2～5）
【空き家バンク成約数】	64件（R2～5）

■事業成果（再掲あり）

- ・協働による具体的なビジョンの策定
- ・慶應義塾大学との連携による外部目線、若者視点の事業反映
- ・地域おこし協力隊の得意分野を生かした活動による地域課題解決、新たな取組の創出



3 前期期間の事業報告

※前期事業総額は5カ年の総額（R2～5：決算額／R6：予算額）

交流



◆基本目標5◆

あらゆる人が関係して高めあう 幸せな交流があるまち

ふるさとまちづくり応援寄附（ふるさと納税）実績

R2	6,413件	1億1,608万8,000円
R3	4,781件	1億465万8,000円
R4	4,435件	9,657万2,200円
R5	4,150件	9,061万9,500円

■事業成果

- ・特産品の販路拡大、PR促進
- ・町内商工業者の活性化支援

■数値的成果と現状

【記念品種類】

R2／84種→R5／156種



臨時交付金を活用した「ウィズコロナ」「アフターコロナ」に向けた事業の推進

視点（1）守る

- たかす米や農産物、牛乳消費の拡大に向けた引換券等の町民配布
- 感染防止に向けたマスクなどの必要備品の購入、各施設への設置
- 外出自粛の影響による高齢者の見守り活動、出産・育児支援
- 大きな影響を受けた町内飲食店や町内企業への経済支援、活動促進支援
- 国の支援に加え、町独自での子育て世代、生活困窮世帯への給付金支援
- 町内商工業の事業継続支援に向けたプレミアム商品券の発行
- 燃料高騰や急激な物価高による影響が大きい町民や町内企業等への支援 など

交付金活用実績額（3年間） 69事業 約2億8,858万円

臨時交付金を活用した「ウィズコロナ」「アフターコロナ」に向けた事業の推進

視点（2）備える

- 避難所等での感染予防対策に向けた備品整備や非常用電源整備など防災面の強化
- 感染防止に向けた公共施設の環境改善対策（換気対策／空調設備など）
- 小中学校におけるコロナ禍での学びの推進（ICT環境整備／オンライン学習など）
- 子どもたちの感染リスク軽減に向けた消毒作業等の人材支援
- 保育園や学校活動等における密集回避に向けた対策（課外活動のバス利用など）
- 各施設における非接触化を図るためのICT環境整備、機器等の購入・更新 など

交付金活用実績額（3年間） 59事業 約2億1,419万円

臨時交付金を活用した「ウィズコロナ」「アフターコロナ」に向けた事業の推進

視点（3）攻める

- G I G Aスクール構想をふまえた児童生徒への1人1台端末（タブレットPC）
- 学校教育におけるICTの推進に向けた、教員や子どもたちのサポートスタッフ配置
- 3密を避けた屋外活動の推進に向けたパレットヒルズ利活用促進整備
- 町税や水道料金など、非接触や電子決済の導入に向けたシステム整備
- 新たな生活様式による人の流れを創出するための移住定住プロモーションの推進
- アフターコロナを見据えた持続可能なまちづくりに向けた新たな地域運営の基盤づくり など

交付金活用実績額（3年間） 30事業 約2億0,445万円

4 後期計画に向けて 10年間の将来像や基本目標については変わりません



4 後期計画に向けて 10年間の将来像や基本目標については変わりません

1-① 人能力を高める人づくり

01 地域ぐるみで魅力ある学校教育



◆目指す姿

地域や教育機関が一体となって子どもたちの充実した学びを実現する。

◆現状と課題

将来を担う子どもたちが安心して豊かな学びを実現することができるよう、教育環境の整備を進めた結果、現状に対して住民アンケートでは高い満足度の評価を得ています。一方で、変化が激しい時代に対応し、教育の質を高めていくためには、地域とともに学校づくりに取り組み、小さな自治体の強みを生かして町の教育機関がより一層連携を強め、子どもの発達段階に応じた魅力ある教育活動を一丸で進めていくチームワークが求められます。

また、支援を必要とする児童生徒に対し、それぞれの特性に応じて、早期から適切な支援を行う必要性が高まっています。

◆基本的な方針

幼児教育から高校卒業までを見据え、町のあらゆる教育機関が連携を強め、目指すべき教育ビジョンを明確に共有し、各校の特色を生かした教育活動を展開します。地域に開かれた学校運営を核として、家庭・地域・学校・行政が一体となって学びの環境の充実を図ります。あらゆる児童生徒の学びの希望に寄り添い、きめ細かな支援を実現します。

- ・町内教育機関丸ごと連携による教育活動の充実
- ・地域教育力の充実に向けた研究の推進
- ・コミュニティスクール【※2】による地域や家庭とともにつくる学校運営
- ・特別支援教育【※3】の充実
- ・きめ細かな学びをサポートする学習支援の実施
- ・質の高い教育環境の整備

【※2】 学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める。法律(地教育法第47条の6)に基づいた仕組み

【※3】 障がいのある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うもの

◆現状と課題

将来を担う子どもたちが安心して豊かな学びを実現することができるよう、教育環境の整備を進めた結果、現状に対して住民アンケートでは高い満足度の評価を得ています。一方で、変化が激しい時代に柔軟に対応し、教育の質を高めていくためには、地域とともに学校づくりに取り組み、小さな自治体の強みを生かして町の教育機関がより一層連携を強め、子どもの発達段階に応じた魅力ある教育活動を一丸で進めていくチームワークが求められます。

また、支援を必要とする児童生徒に対し、それぞれの特性に応じて、早期から適切な支援を行う必要性が高まっています。

◆基本的な方針

幼児教育から高校卒業までを見据え、町のあらゆる教育機関が連携を強め、目指すべき教育ビジョンを明確に共有し、各校の特色を生かした教育活動を展開します。地域に開かれた学校運営を核として、家庭・地域・学校・行政が一体となって学びの環境の充実を図ります。あらゆる児童生徒の学びの希望に寄り添い、きめ細かな支援を実現します。

- ・町内教育機関丸ごと連携による教育活動の充実
- ・地域教育力の充実に向けた研究の推進
- ・コミュニティスクール【※2】による地域や家庭とともにつくる学校運営
- ・特別支援教育【※3】の充実
- ・きめ細かな学びをサポートする学習支援の実施
- ・質の高い教育環境の整備

- 策定時から5カ年で変容した現状と課題の再確認
- 前期期間の評価検証をふまえた基本的な方針の再確認
- 社会の変化に対応するための新たな取組の追加

4 後期計画に向けて 10年間の将来像や基本目標については変わりません

計画の将来像「笑顔 幸せ みんなでつくる あったかす」の実現に向けて

- 前期期間において、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えたまちづくりは、着実に進められてきた。現状と課題を整理し、後期計画ではより先を見据えた『持続可能なまちづくり：SDGs』の観点を組み込んで策定を進める。
- 社会経済状況の変化に伴う新たな課題や町民ニーズへの対応が求められる。
 - 【進行する人口減少／少子高齢化】
 - 【価値観の多様化】
 - 【ゼロカーボン社会の実現】
 - 【急速に進むデジタル社会】

(1) 町民の決意

「まちの未来＝自分の未来 まちづくりを我がごととして捉えます」

(2) 行政の決意

「限られた財源を有効に活用し、資源を生かした創意工夫に取り組みます」

(3) 連携の決意

「町民と行政、団体、民間組織など、チームで新たな風をおこします」

4 後期計画に向けて

【持続可能なまちづくり：SDGsの観点】

あらゆる世代が幸せを
追求する人が輝くまち



地域ぐるみで魅力ある学校教育



感性を育むふるさと共育



世代に応じて学び続けることが叶うまち



誰もが気軽にスポーツに頼りしめる場の提供



郷土の歴史と文化芸術を生かしたまちづくり



あらゆる人の希望に
寄り添う幸せな暮らし
を実現するまち



希望を叶えるあたたかな出産・子育て支援



一人ひとりが充実した暮らしを営むまち



生涯元気に活躍できるまち



みんなで主体的に取り組む健康づくり



あらゆる地域資源を
活かす幸せなしごとを
つくるまち



未来へつなぐ明るい農業



商工業の持続的な発展



資源を生かした観光振興



地域産業の活力の創出



あらゆる安心を未来へ
とつなぐ幸せな環境を
持続するまち



自然環境と都市機能が調和した
魅力あるまちの形成



安全で安心なまちづくりの推進



生活インフラの適正な整備と管理



地球の豊かな環境の保全と
自然エネルギーの活用



森林の公益的機能の維持増進



あらゆる人が関係して
高めあう幸せな
交流があるまち



住民参加と連携によるまちづくり



戦略的な情報発信



地域と調和する移住定住促進と関係人口の創出



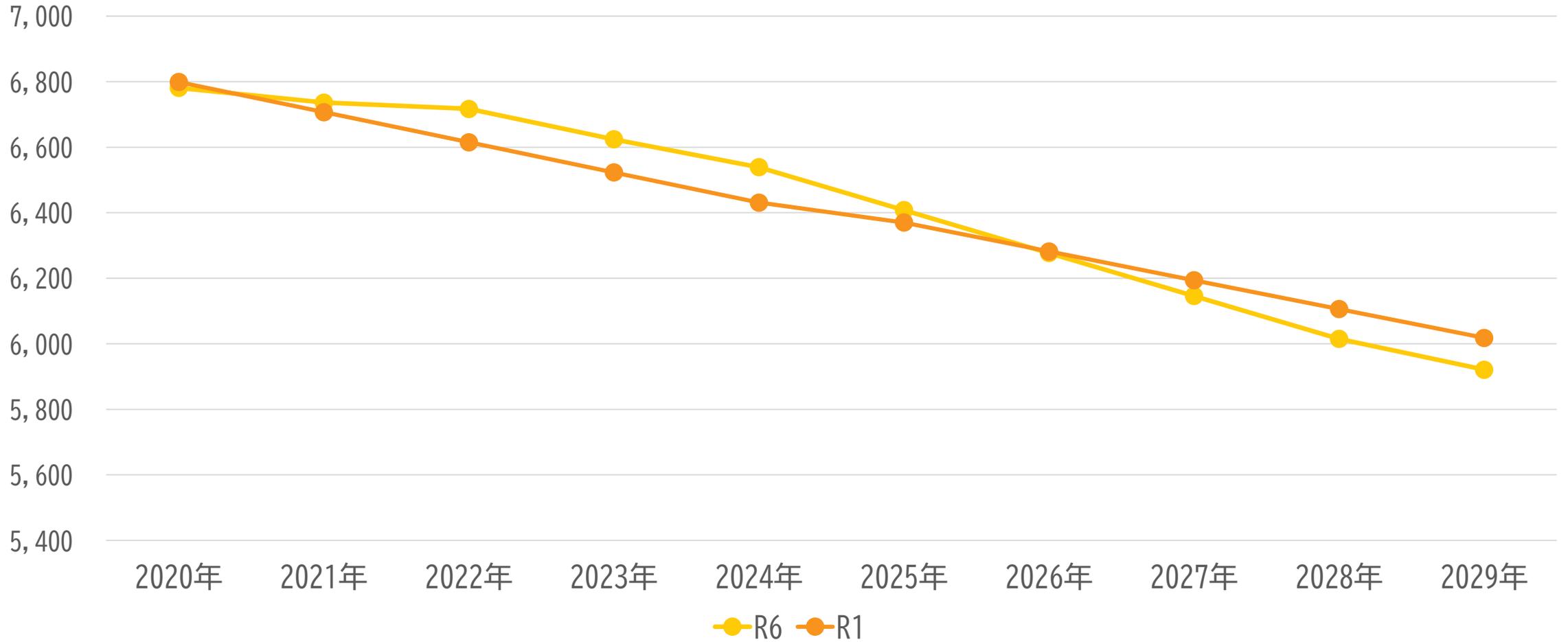
持続可能な行政運営



4 後期計画に向けて

【進行する人口現状／少子高齢化】

人口ビジョンの再推計

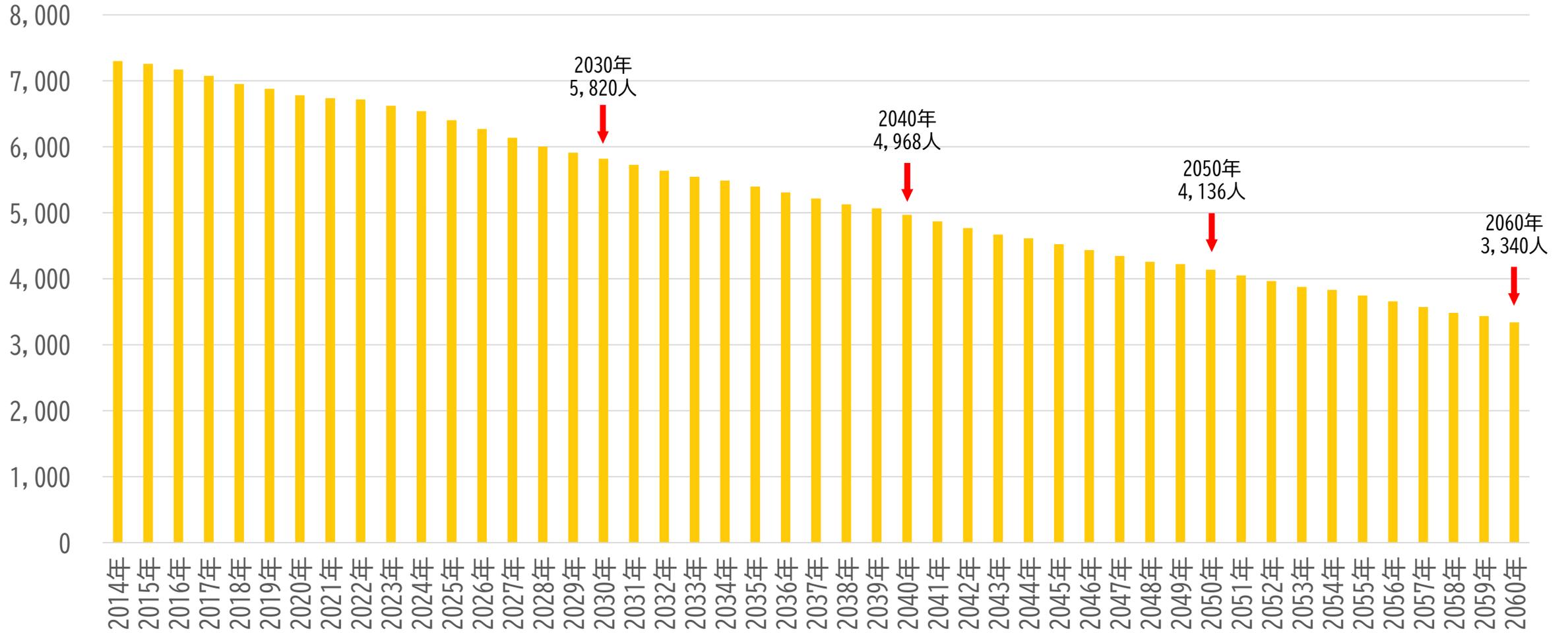


※令和2年3月策定「鷹栖町人口ビジョン」／令和6年3月数値による再推計

4 後期計画に向けて

【進行する人口現状／少子高齢化】

鷹栖町人口将来推計



※令和6年3月数値による再推計

4 後期計画に向けて

【急速に進むデジタル社会】

【令和6年度の事業】

- 証明書コンビニ交付サービス
- 書かない窓口の導入・運用
- 公共施設予約システムの導入・運用
- 町議会ペーパーレス化／タブレットの導入

【実施している事業】

- 広報折込チラシのデジタル化
- 町内会回覧板アプリ試験導入
- アンケート等のオンライン回答

4 後期計画に向けて

計画の将来像「笑顔 幸せ みんなでつくる あったかす」の実現に向けて

策定スケジュール（予定）

- 7月 まちづくり懇談会（5地区）／住民アンケート（1,000件）【住民意向／ニーズ把握】
- 7月 地域づくりセミナー【27日（土）開催】
「稼ぐ？バズる？タカステナブる！」講師：守時 健氏
- 7月～ 策定委員会の開催（6回程度）【15名／前期の評価検証／後期計画内容の協議】
- 8月～ 団体等ヒアリング／地域等ワークショップ【住民意向／ニーズ把握】
- 10月 まちづくり懇談会（5地区）【住民意向／ニーズ把握】
- 11月 町民向けパブリックコメント【計画案に対する意見集約】
- 12月 後期計画の策定
- 4月～ 後期計画に基づく5カ年の取組スタート